

新潟県立長岡高等学校長

鈴木勇二

1 はじめに

皆さん、こんにちは。いよいよ2学期が終わります。皆さんにとって、どんな2学期だったでしょうか。新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、授業に、部活動に熱心に取り組む様子がかがえしました。先ほど表彰がありましたが、全国大会での活躍もありました。それ以外にも、語学部は英語ディベート県大会で優勝し全国大会へ、テニスや弓道、吹奏楽なども県大会を勝ち抜いてブロック大会に出場しています。素晴らしいです。

2学期も多くの行事を行いました。代表的なものとして、和同祭は公開で2日間行いました。キャリアデザインツアーは2年生が文系、理系、理数科に分かれてそれぞれ大学や企業を訪問する中で、最新の技術に触れたり、本校OBである学生の話の聞いたりしました。11月の創立記念講演会では本校卒業生であるアクシアルリテイリング代表取締役社長の原和彦様からご講演いただきました。第二部会もありましたね。一つ一つの行事が皆さんにとって大切な経験になります。あと1週間ほどで今年も終わりになりますし、ちょうど良い機会です。2学期だけでなく、この1年を振り返ってみて欲しいと思います。そして、今後の自分について考え、自分は何をすべきか、次の1年の明確な目標を持ってください。

今日は3つお話しします。

2 新型コロナウイルス感染症対策について

はじめに、新型コロナウイルス感染症の感染が止まりません。今日の新潟県発表の感染者数は3,383人でした。本校生徒の感染は、今年度に入ってから12月21日現在で延べ244人となり全校生徒の25.8%にもなりました（教員は16人）。ウィズコロナといわれるように、社会活動を止めないようにしながらの感染症対策を行う方向になっていますが、校内においては、これまで同様、基本的な感染症対策を徹底し感染が起きないようにしましょう。手洗い、手指消毒、マスク着用、教室の換気、黙食等の徹底をお願いします。特に、マスクを外しての会話には注意しましょう。

3 「葉」の配付について

二つ目です。先月、以下のようなお手紙を頂きました。

「 晩秋の候 ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

私ども長岡高校昭和54年卒同期有志は、このたび1学年先輩の北牧裕幸氏が総合プロデューサーを務める「長岡米百俵フェス2022」において、コロナ渦により長岡まつり大花火大会で打ち上げることができなかった「還暦花火」を2年遅れで打ち上げることができました。

つきましては、還暦花火打上げ終了にともない、下記の通り、協賛金の中から同窓会への寄付並びに在校生・職員の皆様に記念品を贈らせていただきますので、ご査収のほどよろしくお願いいたします。」

とあり、同窓会へ10万円の寄付と、長岡高校の在校生と教職員全員へということで、この葉を贈呈いただきました。これは、新潟県伝統工芸品の一つである小国和紙で作られた「葉」です。この後のLHRで皆さんにもお渡しします。このことは、同じくLHRで配付する同窓会報「三葉柏」の12ページにも掲載されていますので後で読んでください。長高の先輩の想いををしっかりと受け止め、大切に使いましょう。

4 読書について

三つ目です。昨年度3学期始業式のお話で、

「私は、新年を迎えるに当たって一つの目標を立てました。それは、「^{ひとつき}一月に少なくとも3冊の本を読む」ということです。」

と宣言してから1年が経とうとしています。

頑張ってみた結果は…。冊数では目標には行かなかったものの、多くの本に触れることができ、楽しい時間を過ごせた1年になったというところでしょうか。

今日は今年最後の本を紹介します。上橋菜穂子（うえはし なほこ）さんの「香君」という小説です。数年前にNHKで「精霊の守り人」というドラマが放送されていて良く見えていました。その原作者が上橋菜穂子さんです。

この物語の主人公アイシャは、特殊な嗅覚を持ち、普通の人を感じ取ることができない「香り」のやり取りを知ることができる少女です。例えば、草が発する普段と違う「香り」からその草が「助けて」と言っていることが分かったといった具合にです。アイシャは母親から受け継いだこの能力に戸惑いを感じながらも、人を思いやる優しい気持ちと使命感を

持つ大人へと成長していきます。そして、自分を認めてくれる人たちに守られながら、その能力を発揮して大国の存亡に関わる問題を解決します。キーワードは「大帝国」「救いの稲」「絶対の下限」「オオヨマ」「異郷のバツタ」。時代は農耕が主産業である頃です。

読み進めていくと、舞台となっている地域の自然が目には浮かぶようです。この辺りでも秋になると稲が黄色くなって穂を垂れている様子が見られますがそんな光景も浮かびます。急峻な山の頂（いただき）はまだ白く、麓は緑に覆われている春の風景も浮かびます。想像でしかないのですが、そういった光景をありありと思い起こさせてくれる文章です。一度、この小説の世界に入ってみて欲しいと思います。

4 おわりに

以上3つお話ししました。さて、いよいよ明日から二週間の冬休みです。宿題や部活動に忙しいかもしれませんが、感染症対策を徹底しつつ、年末年始を楽しみましょう。

3年生は年が明けたらすぐに共通テストですね。残り少ないからと気を緩めないで、テスト当日まで、最後の最後まで頑張りましょう。

以上で訓話を終わります。